

注意

道路走行時は コウノトリに注意

令和7年2月1日(土)に、鳴門JCT～松茂スマートIC間の高速道路でコウノトリとの交通事故が発生しました。

当該箇所である鳴門市大津町は、日本で最もコウノトリの生息密度が高い場所となっており、高速道路から1km圏内には30～40羽のコウノトリが生息していると言われています。

コウノトリは低く飛ぶため、今後も同様の事故が発生する可能性がありますので、運転の際はご注意ください。

コウノトリの一年の過ごし方

卵を産むと、ヒナが巣立つまで子育てする姿が見られます。卵を温めている間は必ず1羽は巣の中にいます。



4～6月

コウノトリ に 会える？

4～6月にコウノトリの巣で最も高頻度で会うことができますが、時期によっては巣周辺より、大津や大麻東部のレンコン田にいる時もあります。

7
～
9月

7月頃レンコン田はハスの花が満開に。観賞は午前7～9時頃がおすすめ

巣立ちをしたヒナが、自分で食べものをとる訓練を始め、やがて巣に戻らなくなります。レンコン田は葉が茂るため、水路やビオトープでよく見かけます。

ハスの花も



繁殖準備をするために、枝などの巣材を運ぶ姿が見られます。



1
～
3月

ナベヅルも



10月下旬～3月まで日本で越冬。コウノトリと田んぼにいる姿や、日の出・日没後に、上空を飛ぶ姿を見られることも

本州から吉野川流域に多く飛来する季節。繁殖場所を探す独身の鳥や、飛べるようになった幼鳥が日により2～20羽程観察できます。



10～2月

